

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念について、理念を掲示してはいるが職員が理念の意味を具体的に理解し、理念を日常の介護に活用しているかといえば疑問な点がある。	全職員が理念を理解して、理念を言えるようにする。	会議だけではなく、日常の申し送りやカンファレンス等にも、理念について話しをする時間を設け「めざせ街角福祉」とはなにかを話し合い、それを実践するための行事や余暇活動を具体的に提案してもらう。	3ヶ月
2	4	2ヶ月に1度のペースで定期的に運営推進介護を開催しているが、参加人数が少ないのが現状の大きな課題となっている。また、現在の運営推進会議録では参加者や会議内容が詳細ではない。	定期的に行っている運営推進会議を有効に活用し、利用者および家族の要望をサービスに有効に活かす。 町内会長・副会長・民生委員・地域包括とも積極的に意見交換や相談を行う。	・新年度より全会員に新しくアンケートを実施して、会員が参加しやすい曜日や時間帯での開催を検討する。 ・運営推進会議録には、参加者や会議内容を具体的に明記する。	3ヶ月
3	33	年に2回は避難訓練を実施しており、内、1回は消防の立会いのもとで行っているが夜勤体制が1人ということもあり、職員には不安な点も多い。	緊急時の連絡・対応マニュアルや非難訓練のマニュアルを見直す。 運営推進会議などを利用して、日頃から町内会とも連絡・連携を密にしておく。	・緊急時のマニュアル、避難訓練マニュアルを見直して、改善すると同時に緊急時の避難場所などを全職員に周知する。 ・入居者参加のもと具体的な避難訓練を行う。 ・運営推進会議の議題として取り入れる。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。